

第 56 回中央労働講座

九州地方関門支部執行委員

三原 陵

今回初めて 56 期中央労働講座（6 月 12 日～14 日シーパレス）に参加しました。

初日の 15 時から第一講義鈴木誠一委員長による「全港湾の歴史」についての講義があり、その後 4 つのグループに分かれてグループ討論（約 30 分）まとめ発表という流れでした。自分は第 2 グループ（7 名）でした。

自己紹介を終えた後、全港湾の歴史を振り返り考えた後、今の港湾について話し合いました。要点としてストライキのやり方、パワハラ問題、魅力ある港湾とは？について討論しました。

2 日目は午前中に第二講義玉田書記長による「産別協定と事前協議制度」について、第三講義鈴木龍一副委員長による「組織運営における書記長の役目」についての講義があり、2 班では要点を絞り第二講義は産別協定と事前協議の重要性、二者二者協議での日港協の立ち位置、インランドデポについて、

第三講義は書記長の役目について、これからの組合弱体化で起こる事、労働者とはヒューマンビジネス、幹部育成の必要性について話し合いました。

いろいろな意見が出る中で、討論 意見交換などをしこれから先全港湾には何が大事かを確認しました。

各県各地方の方々との意見交換、情報提供などはとても良い事ができたと思います。

最後に自分が印象に残っている事は、各グループいろいろなまとめ方や発表の仕方があると思いました。

その中で最後のまとめ発表で、香川県支部の糸川書記長の自分の気持ち、思いなどを入れて伝える発表は、とても心に響きました。

今回参加された方々、懇親会などでは色々と話を聞いてもらったりして迷惑をかけたと思います。

労働講座での感じた事、経験した事を九州に持ち帰り情報共有していきたいと思います。

オンブローゲームは是非またやりたいのでお願いします。

56 期労働講座に関わった方々本当にありがとうございました。